

平成21年12月4日開催 議会改革特別委員会について（協議の概要）

1 日時 平成21年12月4日（金）開会：午前10時00分 閉会：午前11時54分

2 場所 議会棟3号委員会室

3 出席者（欠席なし）

委員長 今村岳司（にしのみや未来）

副委員長 町田博喜（公明党議員団）

委員 岩下彰（西宮グリーンクラブ）

篠原正寛（政新会）

田中正剛（にしのみや未来）

西田いさお（無所属）

野口あけみ（日本共産党西宮市会議員団）

他に、地方自治法の規定に基づき、田中渡議長が出席

委員外議員として、杉山たかのり副議長、よつや薫議員が出席

4 傍聴議員

なし

5 一般傍聴者

なし

6 説明員

（議会事務局）

議会事務局次長 北川英子

庶務課長 北林哲二

議事調査課長 宮島茂敏

7 協議概要

（1）平成22年度議会関連予算について

前回の委員会（11月25日）で結論が出なかった事項について、引き続き協議を行いました。

常任委員会管外視察旅費

協議の結果、現行どおりの額（20万円）とすべきであるとする意見、10%の減額を主張しているが現行どおりでまとまるのであればそれでもよいとする意見、議会費全体で少しでも削減すべきであると考えており、視察旅費は一番削減が可能であるとするので10%削減すべきであるとする意見、12万円に減額

すべきであるとする意見に分かれています。 は本日新たに提案された意見であり、前回の委員会において主張された、予算編成方針に従い10%～20%減額すべきであるとする意見はなくなりました。

次回の委員会(12月15日)で引き続き協議することになりました。

特別委員会管外視察旅費

協議の結果、現行どおり基礎額(1千円)のみを予算計上することで意見の一致を見ました。

政務調査費の額

協議の結果、現行どおりの額(月額15万円)とすべきであるとする意見、10%の減額を主張しているが現行どおりでまとまるのであればそれでもよいとする意見、減額を主張しているが議会費全体で少しでも削減すべきあると考えており、視察旅費が10%削減されるのであれば平成22年度予算の政務調査費については現行どおりでもよいとする意見、半額(月額7万5千円)にすべきであるとする意見に分かれています。 は本日新たに提案された意見です。

次回の委員会で引き続き協議することになりました。

常任・議会運営委員長への報酬加算

事務局から市当局の意見について報告がありました。その内容は、報酬加算を含めて議員に関する報酬については、特別職報酬等審議会の答申を受けて決定しているものであり、制度の改正として報酬加算の減額等を行うのであれば特別職報酬等審議会への諮問が必要となるが、財政状況等から一定期間を決めた減額等であればその必要はないというものでした。

協議の結果、現行どおりの額とすべきであるとする意見、廃止を主張しているが議会費全体で少しでも削減すべきあると考えており、視察旅費が10%削減されるのであれば平成22年度予算の報酬加算については現行どおりでもよいとする意見、廃止すべきであるとの意見に分かれています。 は本日新たに提案された意見であり、前回の委員会において主張された、減額すべきであるとする意見はなくなりました。

次回の委員会で引き続き協議することになりました。

議員互助会への市の補助金(人間ドック検診)

前回の委員会では、現行どおりの額とすべきであるとする意見と廃止すべきであるとの意見がありました。本日の協議では、補助率は現行どおりとし、現在基礎額として予算計上している額(100万円)について減額するという意見も出されました。なお、事務局の報告では、近年の補助金の決算状況は、平成19年度が38万4千円、平成20年度が56万3千円であるとのことでした。

次回の委員会で引き続き協議することになりました。

以上、平成22年度議会関連予算のうち本日結論が出なかった事項については、次回の委員会で結論を出すことになっています。

(2) その他

次回以降委員会の日程について、以下のとおり確認しました。

平成21年12月15日(火) 午前10時~午後

平成22年 1月 7日(木) 午前10時~12時

1月18日(月) 午前10時~12時

2月 5日(金) 午後 1時~ 3時

2月15日(月) 午前10時~午後

以 上